

令和8年度 学校案内

2026
GUIDE BOOK

山梨県の農林業・農山村を支える人材を育成する

「生産から流通・販売までアグリビジネスの実際を学ぶ」

「林業の現場で活躍できる高度な知識と技術を身につける」



専門学校 山梨県立農林大学校

Yamanashi Prefectural College of Agriculture and Forestry

校 是

School policy

校 訓

School motto

● 行学一致

● 日々になたなり

● 大地に生きる

教 育 理 念

Educational philosophy

これからの山梨県の農林業・農山村を支える人材を育成する

「生産から流通・販売までアグリビジネスを学ぶ」

「林業の現場で活躍できる高度な知識と技術を身に付ける」

近年、本県の農林業・農山村を取り巻く状況は、農林業従事者の高齢化、荒廃農地や荒廃森林の増加など、様々な課題を抱えています。この様な中、農業においてはIoTやAIなどを活用したスマート農業の振興と、農家の規模拡大や異業種参入による農業法人数の増加など新たな展開が見られます。林業においては、森林資源が充実する中、これらを有効に活用し、スマート林業を経営へ導入する取り組みが始まっています。こうした状況に的確に対応し、農林業を発展させていくためには、農林業の成長産業化を進め、農山村の活性化を促進させる必要があります。

農林大学校では、『生産者の所得の向上』（豊かさの実感）の実現に向けて、実践力と経営感覚を備えた農林業の就業者や経営者の養成を主眼に、生産技術や経営管理に関する講義と実習、先進的な経営を行う農業経営体や林業経営体などへの派遣実習を組み合わせた実践的な教育を行うことにより、生産から流通・加工・販売まで、実際のビジネスに沿った知識や技術を習得させ、これからの山梨県の農林業・農山村を支える人材の育成を図ります。

沿 革

History

昭和 45 年 4 月 農業講習所（昭和 24 年設立）、農民研修所（昭和 35 年同）、蚕業講習所（昭和 29 年同）、果樹研究生（昭和 22 年同）を統合し、農業改良助長法に基づく県内唯一の農業者研修教育施設として農業大学校を開設

昭和 48 年 4 月 本校を双葉町下今井（現甲斐市）に移転
農業機械研修所を併設

昭和 59 年 3 月 本校を北巨摩郡長坂町（現北杜市）に移転 果樹教場、蚕業教場を設置
農業機械研修所を廃止し研修部を設置

昭和 60 年 4 月 農学部を研究科課程を設置

平成 16 年 6 月 研修部に職業訓練農業科（就業支援センターからの受託訓練）を設置

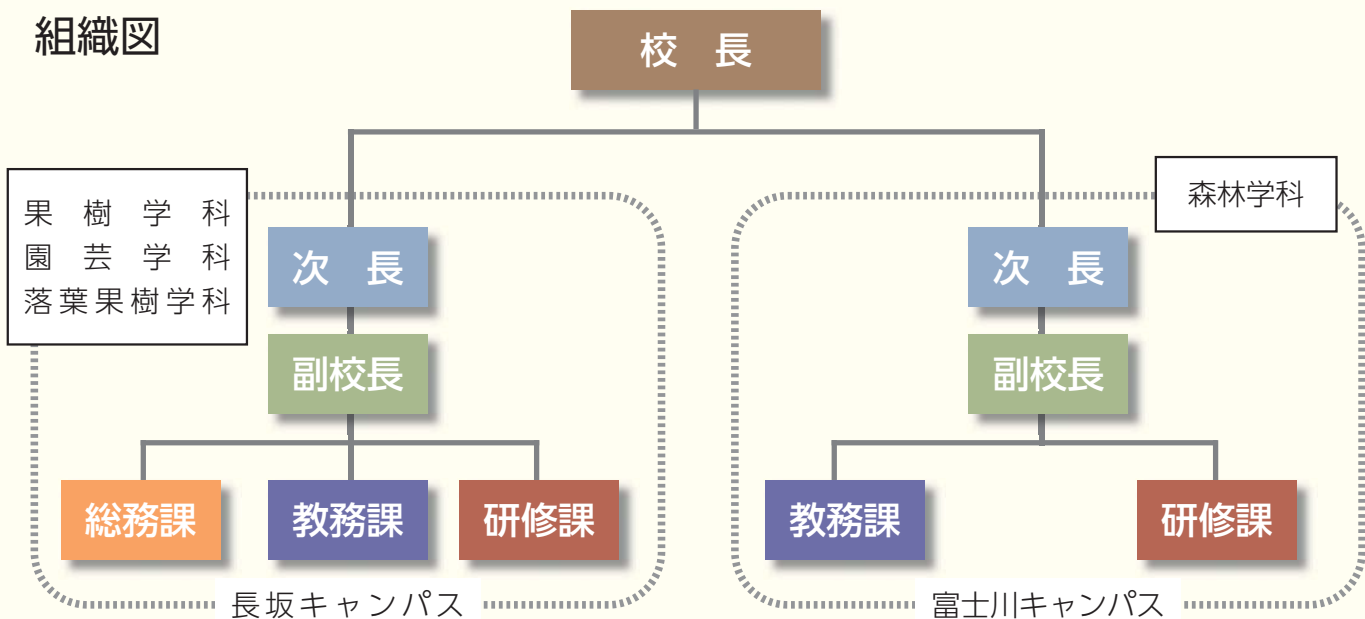
平成 20 年 4 月 学校教育法に基づく専門学校に許可され、従来の本科課程を「養成科」の果樹学科と園芸学科に再編し、研究科課程を廃止し「専攻科」の落葉果樹学科を新設

平成 23 年 3 月 校舎（本館）改築

令和 4 年 4 月 養成科を再編し、果樹学科、園芸学科に加え、森林学科を新設
校名を専門学校 山梨県立農林大学校に改称



組織図



学科の構成と定員

	科	学科	専攻	1 学年定員		修業年限	入学要件
教務課	養成科	果 樹	—	30 名	20 名程度	2 年	高等学校以上を卒業した者 (卒業見込みの者を含む)
		園 芸	野菜 花き		10 名程度		
		森 林	—	10 名			
	専攻科	落葉果樹	—		若干名	2 年	短期大学以上で農業に関する課程を卒業した者、 本校養成科を卒業した者 (卒業見込みの者を含む)

※詳細は令和9年度入学学生募集要綱を参照

研修の対象と定員

	研修名	コース	定 員	研修期間	対 象
研修課	就農トレーニング塾	園芸教室 (年間3回)	20 名	1 日	一般県民及び山梨県居住者 (二拠点居住者含む)
		平日1日	若干名	1 日	新規就農希望者、農福連携希望の 福祉施設職員・利用者等
		週末 (年間10日)	15~30 名程度	10 日	新規就農希望者、ワーケーション・ 二拠点居住者で農業体験希望者
	農業機械研修	トラクター単体研修他	8~24 名	1日~6日	山梨県居住の農業者等
	職業訓練農業科	果樹、野菜・有機農業	各コース30名	9ヶ月	農業法人等就職希望者
	林業研修	指導者育成研修	指導者育成研修	8 名	4.5 日
伐木技能向上研修			16 名	2 日	林業経営体従業員等
林業架線作業主任者免許講習			13 名程度	15 日	林業経営体従業員等

養成科

農業経営を担う生産のプロフェッショナルを育成します

Promotion

果樹学科・園芸学科

● 修業年限2年

農業生産の基礎技術を長坂農場（約4 ha）において実践的に学ぶことを第一として、経営・流通の講義、情報処理・簿記の演習を通して基礎的な経営管理技術の習得も進めます。

また、先進農家・農業法人や流通・販売の現場における研修を進めるとともに、2年間の学習の総括として、自ら農業生産上の課題を探り、これを解決するため、計画立案・実行・評価＝Plan・Do・See（課題解決）の手法による卒業論文（プロジェクト学習）に取り組みます。

これらの学習を通じて農業の経営や流通・販売を支える人材を育成していきます。

果樹学科

ブドウ、モモ、スモモを中心とした露地栽培の基礎的な栽培技術を習得すると同時に、将来を見越した省力化技術や効率的な果樹経営を理論と実践により学びます。また、宅配や直売に向けた荷姿、調整方法や枯露柿などの加工技術を習得します。



園芸学科・野菜専攻

果菜類や葉菜類、根菜類といった多品目の野菜について栽培の基礎技術を習得します。さらに、生産から販売までの一貫した実習を通し、生産工程上の問題点の抽出とその解決に取り組み、消費者ニーズに対応した野菜の生産方法を学びます。



園芸学科・花き専攻

本県の主要花きであるシクラメンなどの鉢ものの類をはじめ、ビオラなどの花壇苗を栽培し、生産技術や出荷調整方法、施設の効率的な利用方法を習得します。また、寄せ植えやアレンジメントなど、流通・販売を意識した利用技術について学びます。





カリキュラムの
特徴

- 農場、先進農家、農業法人等における実習・研修を通じた実践力の強化を目指しています。
- 各学生の将来の進路希望に応じ、栽培技術から流通・販売の分野まで、技術習得に向けたきめ細かな指導を行います。
- 学生一人ひとりが研究テーマを持ち、それぞれの課題解決に必要な学習を進めています。

履修科目・授業時間及び履修単位 1 年次

分野	科目	時間	単位	
教養	英語	15	1	
	体育	30	1	
	化学 I	30	2	
	生物	15	1	
	数学 I	30	1	
	社会学	15	1	
生産技術	共通	病害虫	15	1
		土壌肥料	15	1
		土壌肥料実験	30	1
		生物工学実験	30	1
		環境保全型農業	15	1
		農業機械	15	1
		農業機械実習	90	3
		作物栽培	15	1
		農産物加工	15	1
		共通実習	360	12
		農林連携	30	1
	果樹学科	果樹栽培	(30)	(2)
		専門実習	(240)	(8)
	(野菜)園芸学科	野菜栽培	(30)	(2)
		専門実習	(240)	(8)
(花き)園芸学科	花き栽培	(30)	(2)	
	専門実習	(240)	(8)	
経営管理	農業経営	15	1	
	農産物流通	15	1	
	簿記	30	1	
	情報処理論	30	1	
実際 ビジネスの アグリ	アグリビジネス論	15	1	
	流通販売研修	60	2	
合計		1,200	48	
特別講座		随時		

2 年次

分野	科目	時間	単位		
教養	英語	15	1		
	体育	30	1		
	化学 II	30	2		
	数学 II	15	1		
	社会学	15	1		
	文章表現	15	1		
	生産技術	共通	植物生理	15	1
病害虫			15	1	
施設園芸			15	1	
農業施策			15	1	
農業法規			15	1	
国際農業と食料			15	1	
食品衛生			15	1	
農産物加工実習			30	1	
果樹学科			果樹栽培	(30)	(2)
			専門実習	(180)	(6)
(野菜)園芸学科		野菜栽培	(30)	(2)	
	専門実習	(180)	(6)		
(花き)園芸学科	花き栽培	(30)	(2)		
	専門実習	(180)	(6)		
経営管理	農業マーケティング	15	1		
	簿記	30	1		
	情報処理論	30	1		
	産地育成	15	1		
実際 ビジネスの アグリ	アグリビジネス論	15	1		
	先進農業研修	30	1		
	先進農業派遣研修	330	11		
卒業研究	卒業論文	270	9		
合計		1,200	49		
特別講座		随時			

※特別講座については、共通実習の中で有機農業・先進技術(スマート農業)等を学習する。※時間及び単位の()は、専攻に応じて履修する科目

1 年次

「共通実習」

12
単位

共通実習では、果樹・野菜・花きの栽培実習を通して、基礎的な技術・知識を学びます。また、農業機械の操作実習により操作技術を習得します。



「農業機械実習」

3
単位

各種農業機械の構造と操作方法を習得します。また、大型特殊自動車（農耕車に限る）運転免許証や小型車両系建設機械（バックホー）運転技能特別教育修了証等を取得します。



「流通販売研修」

2
単位

流通の現場である卸売会社、量販店、JA直売所等において流通販売の実践を学ぶとともに接客マナー等販売の基本を習得します。



2 年次

「農産物加工実習」

1
単位

大学校の実習農場で栽培・収穫した農産物を使い、農産加工品の製造方法や販売方法、衛生管理などを習得します。



「先進農業派遣研修」

11
単位

先進的な経営を行っている農家・農業法人等における実習を通して栽培技術、実践的な経営管理技術を習得します。また、農家生活や企業経営理念についても学びます。



■ 実施期間／5月上旬～2月上旬
(35日)

「専門実習・卒業論文」

15
単位

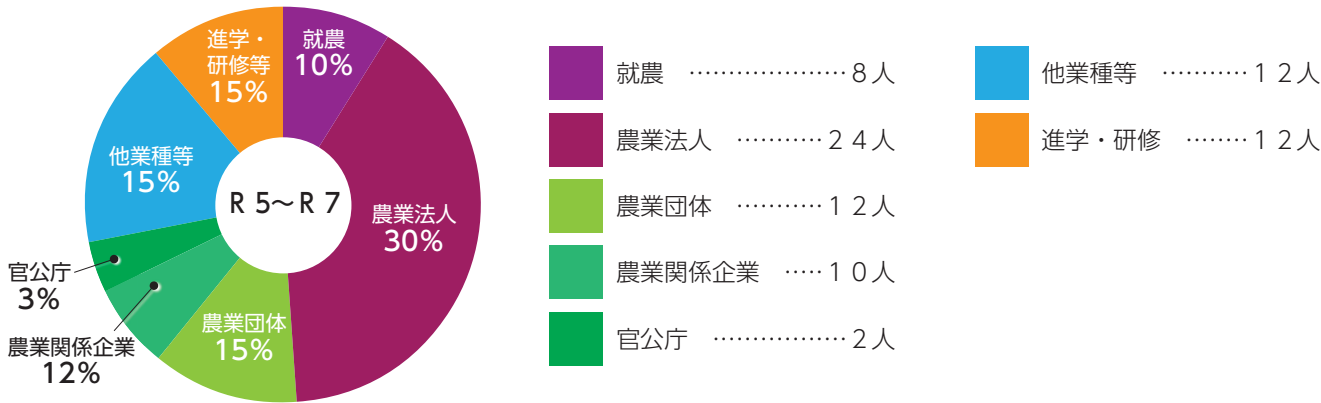
専門実習では各専攻に分かれ、栽培品目の特性を理解し、生育状況に合わせた管理技術を習得します。卒業論文では、農場における実験や現地調査を行い、調査結果を分析・評価し、論文としてまとめます。また、発表を行うことでプレゼンテーション技術の習得や向上を図ります。



■ 卒業論文（プロジェクト学習）
発表会／12月中旬

取得できる資格の例

- 大型特殊自動車運転免許（農耕車に限る）
- けん引自動車運転免許（農耕車に限る）
- 小型車両系建設機械運転特別教育修了証
- 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 危険物取扱者
- 毒物劇物取扱者
- 農業簿記検定
- 日本農業技術検定
- Excel 表計算処理技能認定
- フォークリフト技能講習修了証



年度	就農	農業法人	農業団体	農業関係企業	官公庁	他業種等	進学・研修	計
R7	5	4	4	4	1	4	4	26
R6	1	10	6	4	0	1	6	28
R5	2	10	2	2	1	7	2	26
計	8	24	12	10	2	12	12	80

進路状況

●就農 / 自営就農

●**農業法人** / 株式会社ベジ・ワン北杜 (4) 株式会社アグリ甲斐 (2) 株式会社浅間園 (2)
 株式会社植原葡萄研究所 (2) 株式会社 Maruesu (2) 営農塾マルニ 奥野田葡萄酒醸造株式会社
 株式会社サラダボウル 株式会社見晴し園 合同会社エバグリーン北杜 ジットファーム株式会社
 シミックウェル株式会社 高根ベビーリーフ菜園株式会社 中日本ファームすずなり株式会社
 丸西産業株式会社 有限会社さくらファーム 有限会社武川農産

●**農業団体** / JAふえふき (4) 一般社団法人中央市農業振興公社 (2) 公益財団法人山梨県子牛育成協会
 JA南アルプス市 JA梨北

●**農業関連企業** / 株式会社関東甲信クボタ (2) 株式会社アセラ (2) アシュレイ 株式会社サンコー
 株式会社山梨興農 株式会社リーフランド 社会福祉法人山の都福祉会 山梨銘醸株式会社

●**官公庁** / 山梨県職員 長野県職員

●**他業種等** / 株式会社平山 (3) 株式会社いちやまマート 株式会社オギノ 株式会社サンフーズ
 株式会社洋菓子舗ウェスト 株式会社 BackCountry 生活協同組合ユーコープ
 日東樹脂工業株式会社山梨工場

●**進学・研修** / 山梨県立農林大学校専攻科 (9) 茨城県立農業大学校研究科 誠和アカデミー
 山梨県果樹試験場研修生

養成科に学んで

令和7年度 養成科
果樹学科卒業

自営就農

山下 空輝さん



私の家は農家ではありませんが、幼い頃から母が手伝いをしていた知人の畑によく行き、ブドウのジベレリン処理など簡単な農作業の手伝いをしていました。そして、笛吹高校の果樹園芸科に進学したことで農業が楽しいと感じるようになり、もっと農業について知りたいという一心で農林大学校に進学しました。

農林大学校では、自分の知りたいことを知る、学びたいことを学べる環境が整っています。1年時には果樹・野菜・花きの基礎を学び、栽培した農産物を校内直売所や収穫祭、農業まつりなどで販売し、お客様の生の声を聞くことができます。2年時には自ら課題を設定し、1年かけて研究を行うプロジェクト学習があります。私は山梨県のオリジナル品種である甲斐キングを用いて、「品質を保った摘粒の効率化」をテーマに省力化技術を改良した実用的な栽培方法を研究しました。また、熱心に指導してくれる先生方や研修先の農家さん、同じ志を持つ仲間と出会うことができ、2年間の学校生活はとてとても有意義で楽しい時間でした。

卒業後は、新規就農者としてブドウを栽培します。農林大学校で学んできた知識と技術、経験を活かし、時には出会った仲間と協力しながら、山梨の農業の発展に貢献できる農家になりたいと考えています。

令和7年度 養成科
園芸学科野菜専攻卒業

山梨県職員就職

三井 菜名さん



私は入学当初、地元の山梨で自営就農を目指していましたが、農業経営に向けた専門知識と技術の習得を、と意気込んでいましたが、まず何よりも豊かな自然に囲まれた地元で農業を学ぶことができる日々の学校生活がとても楽しく充実していました。

実習が終わった後でも、圃場と校舎の間にある長い上り坂で足取りが軽く感じられるたびに、実習が約7割を占めるカリキュラムのおかげで体力がついてきたと自信に繋がりました。1年時の共通実習では、専攻外の分野である果樹・花きについても学ぶことができ、農業に対する視野を広げる貴重な機会となりました。また、座学では専門知識の豊富な講師の先生方から親身に、時には実体験も交えながら教えていただけるため、農業への理解を深めることができました。

私は卒業後、山梨県の農業技術職員になります。2年間の学校生活で熱心に指導してくださった先生方や、プロジェクト学習や研修などを通じて山梨と農業に愛と誇りを持つ人々と出会うことができ、農業に関わる人々を支える仕事がしたいと考えたからです。農業分野で活躍する現場の人々への敬意を忘れず、生まれ育った山梨の農業の発展に貢献していくことが私の理想です。

養成科

林業の現場で即戦力となり、将来的に林業経営体の中核を担う人物を育成します。

森林学科

● 修業年限 2 年

森林・林業に関する知識や技術を基礎から専門的分野まで、段階的かつ体系的に学びます。

授業では、就業後に現場で即戦力として働けるように、森林調査から植栽・保育・伐採まで森林施業に必要な知識や技術の習得を図るとともに、ICTなどを活用した効率的で安全な林業について学ぶほか、林業に必要な資格の取得を計画的に進めます。

また、将来林業経営体の中核として活躍できるように、森林の地形や林況、路網や木材市況などから適切な施業方法を選択し、長期的な視点に立った森林施業プランの作成や、事業収支を踏まえた現場管理など林業経営に関する知識や技術の習得を図ります。

教育内容

カリキュラムの核となる専門教育分野は、4つの柱からなる「林業の専門知識・技術」と「実践技術・総合能力」に体系化し編成しています。

林業の専門知識・技術

①森林づくりを進める プランニング力

森林の状況を的確に調査し、事業収支を踏まえた森林経営計画を作成・提案できる知識や技術を学びます。



②森林施業に必要な 知識と技術力

植栽や保育、素材生産に関する知識・技術を身に付けるとともに、高性能林業機械やICTを活用した効率的な作業技術を習得します。

③林業経営の マネジメント力

木材流通やマーケティング、林業事業体会計などを学ぶとともに、林業経営に必要な企画力やマネジメント力を身に付けます。



④森林の幅広い活用

きのこなどの特用林産に関する知識を習得するほか、森林の保健休養機能を活用した森林利用などを学びます。

実践技術・総合能力

計画から伐採に至る一連の実習や林業経営体でのインターンシップ等により、林業現場で必要となる能力を身に付けます。

教育の流れ

1 年次

2 年次

①体験・基礎

②理解・反復

③応用・実践

④総括

林業の基本的な知識とともに、現場の作業に必要な林業機械の操作技術を習得します。

林業の専門的な知識とともに、実習やインターンシップを通して実践的な技術を習得します。



カリキュラムの
特徴

- 豊富な実習フィールドを活用し、植栽から伐採までの全ての工程に関する技術を習得します。
- ドローンやICTの活用など最先端の知識・技術を習得します。
- 木材流通や林業事業体会計など幅広い知識を習得します。
- 林業の実施に必要な資格を計画的に取得します。

履修科目・授業時間及び履修単位 1 年次

分野	科目	時間	単位
教養	英語	15	1
	体育	30	1
	化学 I	30	2
	生物	15	1
	数学 I	30	1
	社会学	15	1
林業一般	森林・林業概論	15	1
	林業法規	15	1
	労働安全衛生	15	1
	森林生態	15	1
森林計画	森林計画概論	15	1
	測量	30	1
	立木調査	30	1
	森林調査実習	30	1
	森林施業プラン	15	1
造林	造林学 I	15	1
	造林実習 I	150	5
	森林保護	15	1
林業機械	林業機械概論	15	1
	林業機械実習 I	150	5
	林業機械実習 II	180	6
路網整備・ 素材生産	森林作業道	30	2
	素材生産実習 I	60	2
林業DX	情報処理論 I	30	1
	森林 GIS I	30	1
	スマート林業概論	15	1
	先進林業実習	30	1
木材流通	木材流通	15	1
	木材加工・利用	15	1
	木材加工・流通実習	30	1
森林活用	特用林産	15	1
	特用林産実習	30	1
総合実習	農林連携	30	1
	総合実習	30	1
合 計		1,200	50

2 年次

分野	科目	時間	単位
教養	英語	15	1
	体育	30	1
	数学 II	15	1
	社会学	15	1
	文章表現	15	1
	林業一般	森林土壌・水文	15
森林計画	森林施業プラン演習	60	2
	森林経営計画	15	1
林業経営	林業経営	15	1
	林業事業体会計	30	2
造林	造林学 II	15	1
	造林実習 II	30	1
林業機械	林業架線実習	120	4
路網整備・ 素材生産	森林作業道作設実習	30	1
	素材生産実習 II	90	3
林業 DX	情報処理論 II	30	1
	森林 GIS II	30	1
	スマート林業	15	1
	スマート林業実習	30	1
木材流通	マーケティング	30	2
森林活用	森林利用	15	1
総合実習	先進農林業実習	30	1
	インターンシップ	240	8
卒業研究	卒業論文	270	9
合 計		1,200	47

1 年次

「測量」

1
単位

林業に必要な測量の種類と方法、作図について学び、実習によりデジタルコンパスやGPSを用いた周囲測量などの技術を身に付けます。



「造林実習Ⅰ」

5
単位

実習林や県内各地の県有林を活用した実習により、植栽、下刈、除伐、間伐、枝打ち等の森林の保育に必要な技術を身に付けます。



「林業機械実習Ⅰ」

5
単位

刈払機やチェーンソーの操作技術、緊急時の救命方法を学ぶとともに、伐倒練習機等を使った反復練習により、安全で正確な作業技術を身に付けます。



2 年次

「スマート林業実習」

1
単位

ドローンやレーザ計測機器などの操作方法、それらを活用した効率的な森林調査の方法や木材生産について学び、スマート林業の実践に必要な知識や技術を身に付けます。



「素材生産実習Ⅱ」

3
単位

ハーベスタやスイングヤード等の高性能林業機械を用いた素材生産の方法を学び安全かつ効率的に使用するための知識と技術を身に付けます。



「林業架線実習」

4
単位

急峻地での木材搬出に必要なとなる林業架線の知識と技術を学ぶとともに、林業架線作業主任者免許の取得に必要な知識を習得します。



取得できる資格の例

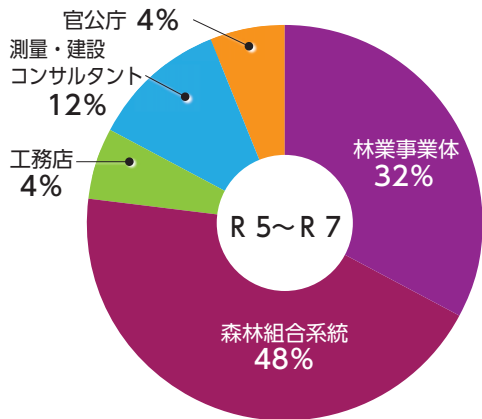
- 伐木等作業従事者特別教育修了証
- 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 車両系建設機械（整地等）技能講習修了証
- 林業架線作業主任者免許
- 普通救急救命講習修了証
- 狩猟免許（わな猟）
- 簡易架線集材機械作業従事者特別教育修了証（タワーヤード等）
- 走行集材機械作業従事者特別教育修了証（フォワード等）
- 伐木等機械作業従事者特別教育修了証（プロセッサ、ハーベスタ等）

※林業架線作業主任者免許については、森林学科を卒業後、2年間の実務経験を経て労働局に申請することにより取得が可能。

進路について Future Course

● 卒業生進路状況 (R5~R7)

養成科



- 林業事業体 …………… 8人
- 測量・建設コンサルタント …… 3人
- 森林組合系統 …… 12人
- 官公庁 …………… 1人
- 工務店 …………… 1人

年度	林業事業体	森林組合系統	工務店	測量・建設コンサルタント	官公庁	計
R 7	2	4	0	1	0	7
R 6	4	2	1	2	0	9
R 5	2	6	0	0	1	9
計	8	12	1	3	1	25

進路状況

- **林業事業体** / 株式会社大望 (2) 株式会社エフバイオス 株式会社小林林業土木 有限会社原林業 有限会社藤原林業 有限会社山口林業 有限会社依田林業
- **森林組合系統** / 中央森林組合 (6) 南部町森林組合 (2) 北都留森林組合 峡南森林組合 富士市森林組合 山梨県森林組合連合会
- **工務店** / 素朴屋株式会社
- **測量・建設コンサルタント** / 一般財団法人山梨県森林総合コンサルタント (3)
- **官公庁** / 山梨県森林環境部

林業の仕事内容

▶ 林業とひとことでも様々な仕事内容があります。その一例を紹介します。



伐木

人工林の育成を目的に行う、形質の悪い木などの除伐や立木を適切な間隔に誘導する間伐のほか、収穫期を迎えた人工林の皆伐など、立木を伐採する作業を行います。



造林

皆伐跡地の枝条を整理する地拵えや苗木の植付け、成長を阻害する草木の下刈、病虫害の防除作業など、健全な森林を育成するための保育作業を行います。



林業機械の操作

効率的な木材生産を進める林業の現場では、伐採や造材を行うハーベスタなどの高性能林業機械が導入されており、オペレーターとなって素材生産や丸太の運搬などを行います。



森林施業プランの提案

小規模で分散している森林を効率的に整備するため、森林所有者へ伐採や植栽などの森林施業プランの提案を行うとともに、施業を受託することにより、地域の森林の管理を担う仕事をします。

養成科に学んで

令和7年度 養成科
森林学科卒業

株式会社エフバイオス就職

福田 俊明さん



私は高校2年生のとき、進路を考える中で、昔から自然や体を動かすことが好きだったことから林業に興味を持ちました。山梨県で開催されていた林業体験ツアーに参加した際、チェーンソーで木を伐採する林業従事者の姿を見て、自分もこうなりたいと思い、林業を志しました。そのツアーで農林大学校の存在を知り、進学を決めました。

1年生では、チェーンソーや重機をはじめとする林業に必要な15個の資格を取得し、機械操作に慣れるための反復練習を重ね、基礎技術の習得に励みました。また、森を育てる造林学や、キノコ・山菜などを扱う特用林産など、林業に関する幅広い知識を学びました。2年生では長期のインターンシップに参加し、1年時に学んだ知識や技術を実際の現場で実践する機会を得ました。下刈りや皆伐現場での伐採作業、グラブプルやフォワーダといった高性能林業機械の運転・操作など、多くの経験を積むことができました。現場では、学校の実習以上に、安全を徹底しながら、効率的に作業を進め生産性を高めることを常に意識して取り組みました。

卒業後は、インターンシップでお世話になった株式会社エフバイオス王生事務所の林業グループで素材生産の仕事に携わります。森林学科で学んだことを土台に、現場で技術を磨き、一人前の林業従事者として成長していきたいと考えています。

令和7年度 養成科
森林学科卒業

中央森林組合就職

古原 獅龍さん



私は高校生の時に見た特殊伐採の様子に感銘を受けて林業に興味を持ちました。高校では土木を専攻していたのですが、山梨の豊かな自然の中で働きたいという思いが強まり、林業の職に就きたいと考えました。そこで、専門的な知識と技術が学べる森林学科に進学することを決めました。

1年次の実習ではチェーンソーや刈り払い機、重機の資格取得や、それらの基礎的な操作方法、座学では林業に関する法律、森林の仕組みや動きなどの基礎的な知識と技術を学びました。2年次はインターンシップで県内の林業事業体や森林組合に行き、実際の林業現場で作業を行いました。特殊伐採の現場も体験させていただき、高度な技術を駆使して安全で正確に作業を進めるプロの姿を目の当たりにし、林業の難しさや奥深さを再認識する良い機会になりました。

現場では、「今、何をすべきか」や「どう動けば安全か」を常に考え、プロのアドバイスもいただきながら安全かつ効率よく作業することができました。

卒業後はインターンシップでお世話になった中央森林組合で、現場作業員として森林整備の仕事に就きます。森林学科で培った知識や技術を生かし、下刈り作業や伐採作業はもちろんのこと、重機作業や林業に興味を持ったきっかけである特殊伐採などの仕事にも積極的に携わり、現場の即戦力となれるよう頑張っていきたいと思っています。

専攻科

果樹経営のスペシャリストを育成します。

落葉果樹学科

● 修業年限 2年

本県を代表するブドウ、モモを中心とした落葉果樹の高度な栽培技術の習得を山梨県果樹試験場において実践的に進めます。経営管理・マーケティング・販売促進についての基礎理論を講義・演習により学ぶとともに、農業法人等における実際的な生産技術・経営管理技術の研修も進めます。

2年次には、学習の成果として将来に向けた自らのアグリビジネスプランを作成します。

これらの学習を通じて新たなアグリビジネスの展開を目指す経営や農業法人の生産・流通の一翼を担える人材として必要な専門知識や経営手法を学びます。

履修科目・授業時間及び履修単位

分野	科目	時間		単位
		1年	2年	
教養	数学	30		1
	社会学		15	1
生産技術	農業施策	15		1
	農業法規	15	15	2
	果樹栽培概論	45		3
	果樹栽培各論Ⅰ		45	3
	果樹栽培各論Ⅱ		45	3
	果樹栽培各論Ⅲ		45	3
	醸造用ブドウ栽培論	30	30	2
	新品種特性	15		1
	地域先進技術	30	60	3
	植物栄養生理	30		2
	植物増殖	30	30	2
	植物生長調節	30		1
	土壌肥料	30	30	2
	病虫害防除	30	30	2
	環境保全型農業	15	15	2
	先端技術実習	390	330	24
	経営管理	農産物流通販売	30	
マーケティング		60		2
販売促進			60	2
農業経営分析			30	1
法人経営論		30		2
アグリビジネスの実際	アグリビジネス論Ⅰ	45		3
	アグリビジネス論Ⅱ		60	2
	農業法人派遣研修	270		9
	異業種派遣研修		180	6
卒業研究	起業理念	30		1
	ビジネスプラン		180	6
合計		1,200	1,200	94

授業紹介

Lesson introduction

1年次

「先端技術実習」

13
単位

山梨県果樹試験場での実習を通して、新技術や先進的な栽培管理技術、植物生長調整剤の活用、土壌・水分・施肥・病虫害対策などを習得します。



2年次

「ビジネスプラン」

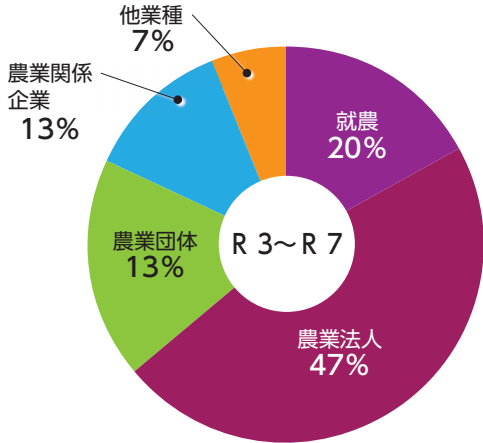
6
単位

起業理念に基づき、生産から流通、販売までを一体的にとらえたアグリビジネスプランを作成します。先端技術実習、農業法人派遣研修及び異業種派遣研修の総括として、農業法人等をモデルとして経営上の課題を抽出し、これを改善するためのビジネスプランを作成します。



進路状況 Future Course

● 卒業生進路状況（過去5年間 R 3～R 7）



- 就農 …………… 3人
- 農業法人 …………… 7人
- 農業団体 …………… 2人
- 農業関係企業 …… 2人
- 他業種 …………… 1人



年度	就農	農業法人	農業団体	農業関係企業	他業種	計
R 7			1			1
R 6		1		1		2
R 5	1	1		1	1	4
R 4	1	3	1			5
R 3	1	2				3
専攻科計	3	7	2	2	1	15

進路先一覧

- **就農** / 自営就農 (3)
- **農業法人** / 株式会社 Kisvin 株式会社志村葡萄研究所 株式会社ドリームファーム
サントリー株式会社 サントリーワインインターナショナル株式会社
丸藤葡萄酒工業株式会社 マンズワイン株式会社
- **農業団体** / JA フルーツ山梨 JA 全農やまなし
- **農業関連企業** / 株式会社アセラ 三好アグリテック株式会社
- **他業種** / 山梨県警察



専攻科に学んで

令和7年度 専攻科
落葉果樹学科卒業

フルーツ山梨農業協同組合 就職
奥田 啓介さん



専攻科では、養成科で身につけた基礎的な栽培技術や農業全般の知識を土台に、山梨県果樹試験場での先端技術実習や、農業法人などで行われる派遣研修を通して、より高度で実践的な農業技術を習得することができました。また、アグリビジネスやマーケティングについては専門講師の方々から体系的に講義を受け、農業経営を多角的に捉える視点を養うことができました。

特にアグリビジネスプランの授業では、学生主体で模擬会社を設立し、農林大学校で収穫された農産物を活用した加工品の企画・開発、さらには加工・販売まで実際に行いました。この経験により、農業生産だけでなく加工・流通、販売戦略に至るまで、農業経営全体の流れを深く理解することができ、知識の幅が大きく広がりました。

卒業後はフルーツ山梨農業協同組合に就職する予定です。指導を受ける立場から、農業生産者を支える側へと変わることには不安もありますが、これまで学んだ知識と経験を糧に、山梨県の農業をさらに発展させられるよう努力していきたいと考えています。

令和5年度 専攻科
落葉果樹学科卒業

就職

山下 龍樹さん



専攻科では、農大や山梨県果樹試験場でブドウやモモなどの専門的な栽培知識や技術を学びました。また、マーケティングやビジネスプランの作成にも取り組み、農業経営についても学びました。さらに、様々な授業で、農産物の生産から加工、流通、販売までの一連の流れを理解しました。私は、農業にやりがいを感じています。学校での実習や研修で、農産物を収穫するまでには様々な苦労があることを知りました。しかし、作物に真剣に向き合い、苦勞を乗り越えて収穫した時の喜びや、消費者の笑顔を見ることで、農業の魅力を感じました。

卒業後は、ブドウ農家になります。そのためには、非農家である私は、地域の方や指導機関のご指導とご協力を得ながら、農地の確保、経営や栽培について準備を進めたいと考えています。

また、これまで学校生活の中でお世話になった研修受入農家や果樹試験場の皆様から、学んだことを活かして美味しいブドウづくりを行いたいと思います。

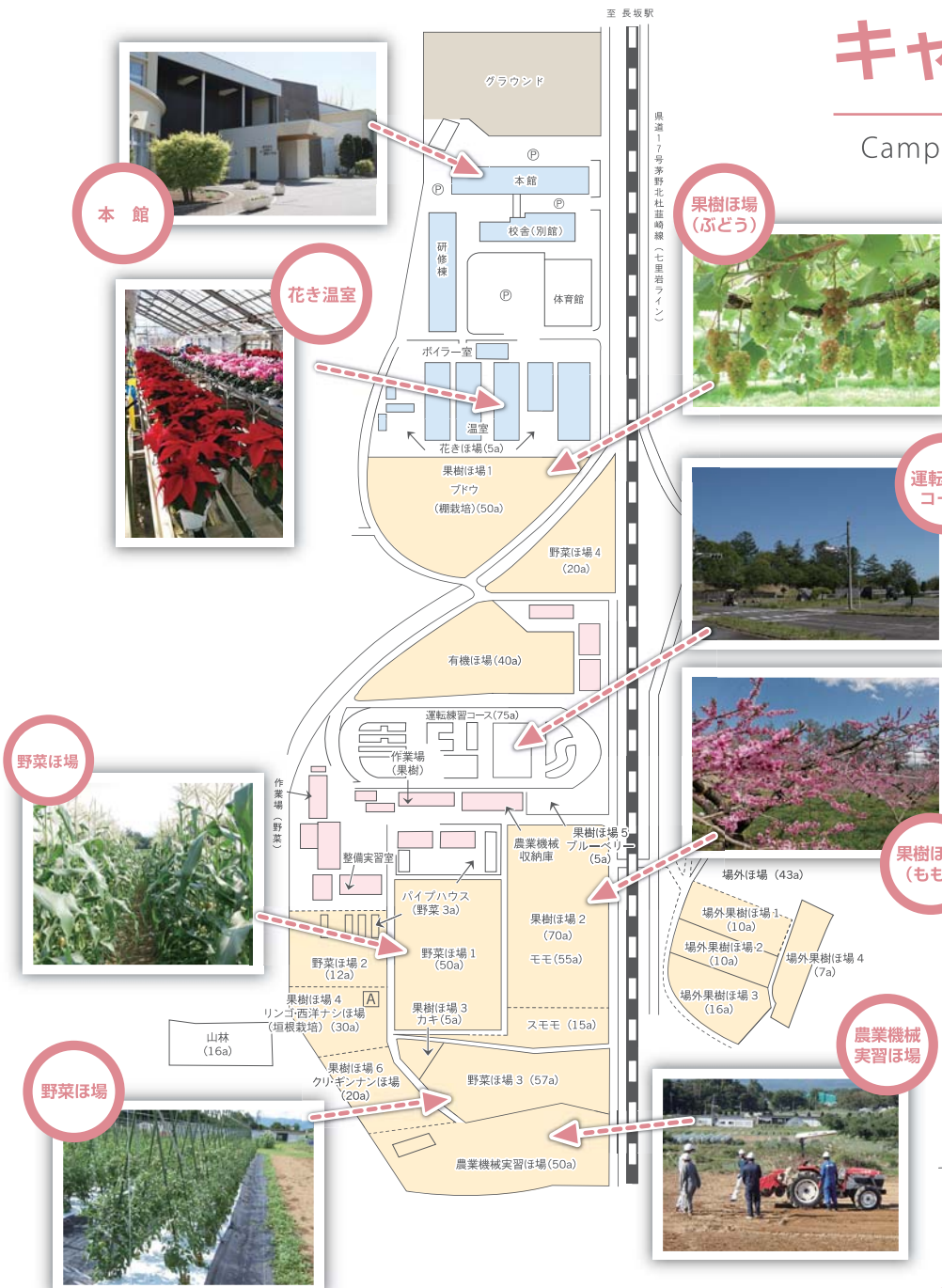
私は学校の収穫祭で丹精込めて作った果物を家族が美味しいと言って食べてくれた時は、とても嬉しかったです。食糧を生産できなければ、私たちが生きていけないと思います。私が農業に修治することで、家族、さらには生まれ育った地域の生命を支えたいと思います。

キャンパスマップ

Campus Map

長坂 キャンパス

Nagasaki Main Campus



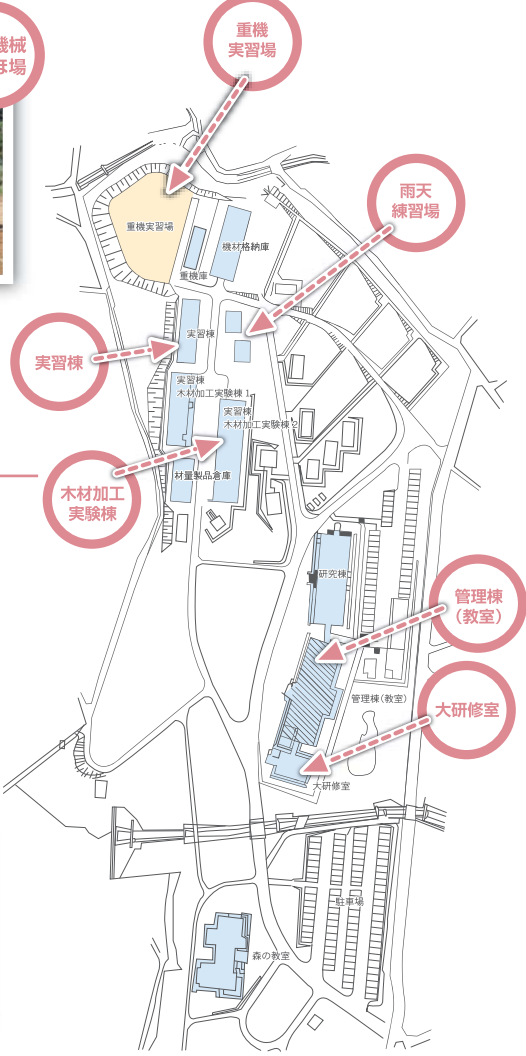
運動練習
コース



富士川キャンパス

Fujikawa Campus

キャンパスに隣接する約 86haの実習林のほか、県有林をはじめとした県内各地の多様な森林が実習フィールドとなります。



入学試験日程（令和9年度入学）

■ 養成科・専攻科 推薦入学試験	2026年10月7日(水)
■ 養成科・専攻科 一般前期入学試験	2026年12月2日(水)
■ 養成科・専攻科 一般後期入学試験	2027年1月29日(金)

願書受付期間

■ 養成科・専攻科 推薦入学試験	2026年9月10日(木)～24日(木)
■ 養成科・専攻科 一般前期入学試験	2026年11月5日(木)～18日(水)
■ 養成科・専攻科 一般後期入学試験	2027年1月5日(火)～18日(月)

学校説明会日程（計画）

第1回学校説明会	2026年6月13日(土)	10:00～12:00	学校説明会・見学会
第2回学校説明会	2026年7月11日(土)	10:00～12:00	学校説明会・見学会
第3回学校説明会	2026年7月25日(土)	10:00～12:00	学校説明会・体験実習
第4回学校説明会	2026年8月8日(土)	10:00～12:00	学校説明会・体験実習
第5回学校説明会	2026年8月22日(土)	10:00～12:00	学校説明会・体験実習
第6回学校説明会	2026年10月31日(土)	10:00～12:00	学校説明会・見学会

※詳細はHPに掲載予定

授業料等の経費

- **授業料** 養成科（果樹学科・園芸学科・森林学科）・専攻科 **年額 118,800円**
（前期・後期で分割納入）
- **諸経費**（教科書代他、実習・研修等に要する諸経費、学生会費及び後援会費）
養成科（果樹学科・園芸学科・森林学科）：1年次 **250,000円**
専攻科：1年次 **100,000円**
- **入学料** 養成科・専攻科 **5,650円**

※なお、入学時及び在学中に授業料等経費が改定された場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。条件により減免措置もあります。

その他 教育の特徴 実践的カリキュラムとその利点

カリキュラムの特徴

- 農場、教場、先進農家、農業法人、林業経営体、演習林等における実習・研修をととした実践力の強化を目指しています。
- 各学生の将来の進路希望に応じ、栽培技術から流通・販売、林業経営の分野まで、技術習得に向けたきめ細かな指導を行います。
- 学生一人ひとりが研究テーマを持ち、それぞれの課題解決に必要な学習を進めています。
- 果樹学科・園芸学科は、農業次世代人材投資事業の給付対象となり、森林学科は緑の青年就業準備給付の対象となります。

専門学校の特長

- 卒業時に果樹学科・園芸学科・森林学科は「専門士」の称号が授与されます。
- 4年制大学（農業系・林業系）への編入試験の受験が可能です。
- 日本学生支援機構の奨学金給付・貸与対象学科に認定されており、奨学金の利用が可能です。
- 高等教育の修学支援制度の認定校となっており、授業料等の減免が受けられます。
- 農業・林業関連企業・経営体等の求人情報を幅広く収集し、学生の希望に応じた進路指導をしています。

Event Campus life

年間行事・キャンパスライフ



入学式



専門実習



専門実習



専門実習

Days
365.

4

Apr.

- 入学式・オリエンテーション
- 学生総会
- 先進農業派遣研修～2月上旬
- 農林連携

5

May.

- 農林連携
- 春季球技大会

6

Jun.

- 学校説明会(第1回)

7

Jul.

- 学校説明会(第2・3回)
- 販売実習～9月下旬
- 就職セミナー
- 農林連携
- 農業基礎技能競技会

8

Aug.

- 学校説明会(第4・5回)
- 夏季休業



農林連携



農林連携



刈払機講習



春季球技大会



春季球技大会



販売実習



就職セミナー



流通販売研修



収穫祭



農林連携



専門実習



農林連携



プロジェクト学習発表会

9

Sep.

- 流通販売研修
- 秋季球技大会
- 農林連携
- 先進林業実習
- 先進農業研修

10

Oct.

- 推薦入学試験
- 収穫祭
- 学校説明会 (第6回)

11

Nov.

- 農業基礎技能競技会
- 農林連携

12

Dec.

- 前期入学試験
- プロジェクト学習 (卒業論文) 発表会
- 素材生産実習
- 冬季休業
- 農林連携

1

Jan.

- 関東ブロック農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
- 後期入学試験
- 農林連携

2

Feb.

- 全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
- 専攻科卒業研究 (ビジネスプラン) 発表会
- 森林学科卒業論文発表会

3

Mar.

- 卒業式
- 春季休業



秋季球技大会



農業基礎技能競技会



農産物加工実習



トラクター実習



バックホー実習



卒業式

研修

就農(就業)希望者・農業従事者、林業従事者を支援します！

今すぐに農業を始めたい方や就農に向けて農業を学びたいと考えている方、農業を体験したい方まで、幅広く講義と実習を通して農業の技術や知識の習得を支援します。また、農業従事者を対象に、農業機械操作・整備研修を行っているほか、林業従事者を対象に林業経営や現場管理等に関する研修を行います。

- **就農トレーニング塾** ■対象：新規就農希望者 農福連携希望の福祉施設職員とその利用者等
ワーケーション・二拠点居住者で農業体験希望者
- **園芸教室** ■対象：一般県民及び山梨県居住者（二拠点居住含む）
- **農業機械研修** ■対象：一般農業者等
- **職業訓練農業科** ■対象：農業法人等への就職希望者
- **林業研修** ■対象：林業経営体経営者・従業員

就農トレーニング塾

近い将来、山梨県内で農業を始めたい方を対象に、農業への適正判断や就農の心構えを養うために栽培管理の実習などを行います。

- 平日コース
- 週末コース（年間 10 日）
週末の土・日を利用し 1 年間に 10 回実施
ももコース ぶどうコース 野菜コース 有機農業コース



園芸教室

農業への理解と関心を深めるために一般県民の皆さんを対象に農業に関する体験研修を行います。

今年の実施予定

8月	クイズで学ぶ果樹と収穫体験	夏休みの子供向け	親子10組
8月	夏野菜と秋野菜の収穫体験	夏休みの子供向け	親子10組
12月	土壌の基礎	一般向け	20名



農業機械研修

山梨県内の農業者や農業従事者、農業法人職員等を対象に道路交通法に基づく運転技能講習、労働安全衛生法に基づく農業機械の安全運転講習等を行っています。

- トラクター単体 けん引（農耕車限定）
- 小型バックホー
- 農業機械安全利用・整備基礎研修
- トラクター作業機基礎研修



職業訓練農業科

農業法人・農業関連企業への就業に求められる栽培技術の基礎や作業の流れを農林大学校での実習や先進農家派遣実習を通じて習得します。また、農業経営に必要な簿記、安全な農業機械の操作、鳥獣害対策等にも理解を深めます。

9か月（4月～翌年1月） 1,050時間

定員 果樹コース 30名

野菜・有機農業コース 30名



林業研修

林業経営体の経営者や従業員等を対象として、指導者育成研修や伐木技能向上研修、林業架線作業主任者免許講習を行います。



林業架線作業主任者免許講習

研修を受講して

令和7年度職業訓練農業科
果樹コース修了

公益財団法人 山梨県農業振興公社就職

角田 凌麻さん



近年の農業の担い手不足に危機感を感じており、果樹王国であるこの山梨を勢いづけ、盛り上げていきたいと思ったのがきっかけで、農業知識ゼロでしたが、職業訓練農業科の存在を知り受講を決意致しました。

職業訓練では9ヶ月間という短い期間にも関わらず、栽培概論、栽培実習といった基礎知識を始め、農業機械、農業経営、土壌肥料、病害虫防除、農業簿記など、農業に携わっていく上で必要不可欠となるスキルを学ぶ事ができました。

また、農家派遣実習では経験豊富な農家さんの下、栽培スキルや販売技術などを間近で見たり、実際に経験したりすることで、農業に取り組んでいく上でのアドバンテージに繋がったと強く感じております。

授業の一環で行う販売実習では、年齢層も様々な仲間と一緒に栽培から販売までを計画して、訓練生同士で一致団結して取り組むことで、絆を深める事ができました。

内容が濃く、大変有意義な9ヶ月間を過ごす事ができました。可能ならば、もう一年通いたいくらい楽しかったです。

迷われていましたら、間違いなく受講をおススメします！

令和7年度職業訓練農業科
野菜・有機農業コース修了

一般社団法人 REHOKUTO就職

齊藤 幸司さん



私は会社勤めの傍ら親が営むぶどう園を手伝っていましたが、農業への転身を考え、農業を一から学ぶ必要性を感じていました。そこで、ぶどう経営に野菜を加えた複合経営を目指し、職業訓練農業科の野菜・有機農業コースを受講しました。

座学は栽培に関する内容だけでなく簿記や流通、加工から農業経営まで様々な講義があり、初めて知ることだらけでした。

真夏の栽培実習は暑く、作業量が多いので大変でしたが、野菜コースの仲間と協力して乗り越えることができました。野菜栽培の知識や経験だけでなく一生付き合える仲間達と出会えたことが、私にとって大切な財産になりました。

栽培した野菜を販売する販売実習では、野菜栽培の面白さと難しさを痛感しました。

農家派遣実習先である北杜市の（一社）REHOKUTOでは、主力の枝豆のシーズンは朝早くから作業をしました。おかげで体が引き締まり体力も付きました。

今後は派遣実習先に就職し、農業を通じて地域を盛り立てていきたいと思っております。

各種研修の応募について

○就農トレーニング塾 ○園芸教室

専門学校山梨県立農林大学校ホームページのメニュー（各種研修）により募集内容をお知らせしますので、募集要項に基づき申し込んでください。

○職業訓練農業科（果樹コース、野菜・有機農業コース）

○住居地を管轄する公共職業安定所（ハローワーク）に求職登録をして職業相談を受けてください。

○職業相談を受けた後、ハローワーク窓口に応募書類を提出します。

※応募にあたっては、事前に就業支援センターや農林大学校へ訪問していただき、相談していただくことをお勧めします。

○応募書類は山梨県内のハローワーク、就業支援センター、農林大学校のホームページで入手できます。

○農業機械研修

各研修の約2ヶ月前から募集を開始します。最寄りの関係各機関（JA・県農務事務所）

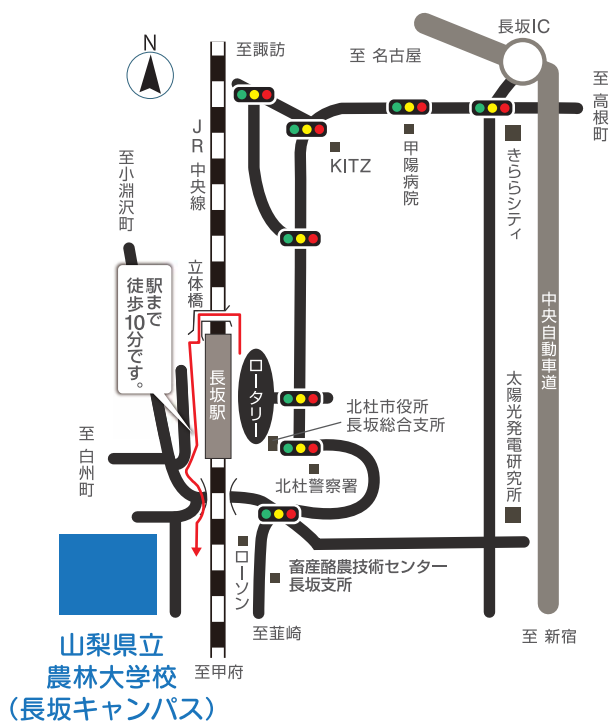
又は農林大学校のホームページのメニュー（各種研修）で実施要領、申込書を入手して申し込んでください。

○林業研修

各研修の約1ヶ月前までに募集を開始します。森林学科からの通知、又は農林大学校ホームページのメニュー（各種研修）で実施要領、申込書を入手して申し込んでください。



長坂キャンパス



富士川キャンパス



専門学校 山梨県立農林大学校

Yamanashi Prefectural College of Agriculture and Forestry

長坂キャンパス 〒408-0021 山梨県北杜市長坂町長坂上条 3251
TEL : 0551-32-2269 FAX : 0551-32-2034

富士川キャンパス 〒400-0502 山梨県南巨摩郡富士川町最勝寺 2290-1
TEL : 0556-42-7080 FAX : 0556-22-8002

果樹教場 (山梨県果樹試験場)
〒405-0043 山梨県山梨市江曾原 1204
TEL : 0553-22-1921

野菜花き教場 (山梨県総合農業技術センター)
〒400-0105 山梨県甲斐市下今井 1100
TEL : 0551-28-2496



公式 HP



公式 Instagram